

庄司孝輝氏、 新会長に就任 「大衆娯楽」へ強い意欲

第24回日遊協通常総会は6月13日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。深谷友尋会長（フシミコーポレーション(株)）が正式に辞任した。同会長は6期12年にわたり日遊協と遊技業界をエネルギーギッシュに牽引してきた。後任の第6代会長には、東京都・関東支部長の庄司孝輝副会長（ピーアークホールディングス(株)）が臨時理事会で互選された。一般社団法人へ移行するための定款改正案が承認された。日遊協は新しいリーダーの下、業界横断的組織として諸団体結束の中核となり、時代に相応しい産業基盤の確立に向けてスタートを切った。深谷会長は総会冒頭の挨拶で、

12年間の会長在任中に携わった様々な事業を振り返るとともに、「窮状にあるこの産業をどう導いていったらいいのか。私はこの2、3年悩んできた。そして、新しいリーダーを日遊協に迎えるべきだと決断した。そのためのプロジェクトチームを立ち上げた。新しいリーダーの下で、しっかり議論を通して産業のブランドデザインを描き、活性化させる計画を推進していく。ただ、これとを願っている」と、新し

新会長就任で決意を述べる庄司孝輝氏



総会の進行を熱心に聞き入る出席者たち

いリーダーに後を託しながら辞任の言葉を述べた。（深谷会長の挨拶要旨は6〜7ページ）

新副会長に 谷口久徳氏、筒井公久氏

また、金沢全求副会長（株）三洋物産）も、5月29日の日工組総会で理事長に選出されたことを受けて、日遊協理事・副会長を辞任した。金沢氏の後任の理事候補として全国遊技機組合連合会（全機

連）が推薦する筒井公久氏（株）SANKYO）が総会で提案され、承認された。

深谷、金沢両氏の辞任に伴い、総会を中断して理事27人出席による臨時理事会が開かれ、会長、副会長の互選が行われた。会長には庄司氏が満場一致で互選された。副会長の欠員には庄司会長の推薦を受けて、東北支部長の谷口久徳氏（株）ニラク）と新理事の筒井氏が満場一致で互選された。

庄司孝輝会長

「活性化へ体質改善してお客様の求める遊技を」

庄司氏は会長就任の挨拶で、「この産業は岐路にきている。今年、来年というのではなく、長いスパンで継続的・安定的にこの産



谷口久徳新副会長

筒井公久新副会長

庄司孝輝会長 略歴

昭和29年 2月	生まれ
昭和51年 4月	三洋証券(株)入社
昭和53年 10月	(株)辰巳入社
昭和54年 5月	同社 取締役
昭和58年 12月	辰巳商事(株)(現ピーアークホールディングス(株))取締役
昭和59年 11月	同社 取締役副社長
平成 8年 6月	ピーアーク(株) 代表取締役社長
平成17年 6月	ピーアークホールディングス(株) 取締役副社長
◇	
平成20年 3月	社団法人日本遊技関連事業協会 東京都・関東支部長
平成20年 6月	同協会 副会長
平成25年 6月	同協会 会長

業を成長させるために、どのように体質改善して行けばいいかが重要だ。今一番の課題はファンの減少だ。これはこの10年、業界が変わりきれなかった結果だ。お客様の求めている遊技に対して、われわれはお客様を中心に物事を考えられなかったのだ。ホールはオペレーターとしての役割をしっかりと果たし、メーカーは求められる機械をしっかりと提供する、このことがこの10年間でできなかったということだ。改めてこの産業を活性化するために、日遊協は活性化プロジェクトを中心として他団体と協議に入って行きたい。この業が大衆娯楽として再び蘇るよう、皆様のお力をお借りしたい」と述べた。

庄司新会長は昭和29年(1954)生まれ。

59歳。ピーアークホールディングス取締役副社長。日遊協では平成20年3月に東京都・関東支部



庄司新会長を互選した臨時理事会

長、同年6月に副会長に就任した。谷口副会長は「やるべきことははっきりしている。確実に実行するために邁進していきたい。また、東北支部長として東北6県を回りながら日遊協を理解していただけるよう切磋琢磨していきたい」、筒井副会長は「先輩たちが築き上げたこのビジネスの凋落をいかに食い止めるか、メーカーの人間として一生懸命やらせていただく」と、それぞれ決意を述べた。

決算、予算を承認

平成24年度事業・決算報告、25年度事業計画・予算案が承認された。24年度収支決算では、事業活動収入は3億7303万円で予算額より666万円の減。同支出は

日遊協新体制 (○印は新任、50歳未満)

会長	○庄司 孝輝	ピーアークホールディングス(株)
副会長	安藤 利彦	(株)アスカ
同	大久保正博	大丸商事(株)
同	兼次 民喜	(株)オリンピック
同	○谷口 久徳	(株)ニラク
同	○筒井 公久	(株)SANKYO
同	韓 裕	(株)マルハン
同	福井 章	(株)ポネール
同	山田 久雄	(株)九州エース電研
専務理事	篠原 弘志	員外(事務局)
常務理事	伊東 慎吾	員外(事務局)
理事	秋田 光勇	(株)エース電研
同	内ヶ島 隆寛	(株)高尾
同	大響 裕記	(株)アス・ワン
同	栢森 秀行	ダイコク電機(株)
同	岸野 誠人	東和産業(株)
同	後藤 信行	(株)ナオ
同	篠原 友也	(株)北電子
同	篠原 菊紀	諏訪東京理科大学
同	白石 良二	(株)千歳観光
同	知念 安光	(株)安田屋
同	堤 義成	ラーネット総合法律事務所
同	西村 拓郎	日拓ホーム(株)
同	樋口 益次郎	三宝商事(株)
同	日野 洋一	(株)鉄人化計画
同	吹浦 忠正	拓殖大学
同	松谷 明良	(株)ビクトリア観光
同	山口 悟	京楽観光(株)
同	吉村 泰彦	JCMシステムズ(株)
監事	加藤 義久	日本みらい会計事務所
同	平澤 黎哲	(株)山水
同	和久田守彦	(株)愛知商会
特別参与	松田 高志	(株)同友会

新定款承認、申請へ

3億8125万円、同収支差額は822万円のマイナスだった。25年度収支予算では、事業活動収入に3億6711万円、同支出に3億7563万円、同収支差額に852万円のマイナスをそれぞれ計上した。

定款改定の内容——が説明された。今回の承認に伴い、直ちに内閣府認定委員会への申請作業に入る。年内に認可が下りた場合でも、一般社団法人としての発足は年度が改まる来年4月が予定されている。(定款改正の内容は本誌6月号で既報)

一般社団法人移行に伴う日遊協定款の改正案と、関連する常勤役員報酬に関する規程案が上程され、承認された。

篠原専務理事から、①平成20年に新公益法人制度が施行されてからの日遊協としての対応の経緯②現在の法律や施行細則に則った

長年にわたり日遊協活動に貢献した阿部恭久(前副会長)、石橋保彦(同)、吉川篤(同)、山口雅弘(前理事)の4相談役に、深谷前会長から功労役員の表彰状が授与された。また、会長を退任した深谷氏に庄司会長から相談役の委嘱状が手渡された。

古谷洋一保安課長が講話

警察庁の古谷洋一保安課長が行った講話を行った。同課長は①過度な射幸性の抑制 ②広告宣伝の健全化 ③依存(のめり込み)対策 ④不正改造事案の根絶 ⑤賞品買取事犯の絶無 ⑥適切な賞品提供の徹底 ⑦遊技機の適正な管理 ⑧消費税への対応——等について述べた。

(8~13ページに講話詳細)

第3回エッセー・絵手紙C

秋山、大串さん表彰

「第3回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール」で最優秀賞を受賞した香川県多度津町、会社員秋山瑞葉氏(21)(エッセー部門)、東京都杉並区、自営業大串勇二氏(36)(絵手紙部門)の表彰式が行われた。秋山氏には盾と副賞の旅行券30万円分、大串氏には本人

の作品をあしらった絵皿と副賞の旅行券15万円分が、審査委員長を務めた深谷前会長と福山広報調査委員長から手渡された。

総会には出席正会員138社、委任状提出正会員153社、計291社となり、正会員数338社(5月16日現在)の2分の1を超え、定款第23条及び第39条の規定により有効に成立した。



総会で表彰されてうれしそうの大串さん(左)と秋山さん

350人が集い懇親会

新会長にエールにぎやか

通常総会に引き続き、6月13日夕、ハイアットトリージェンシー東

京で懇親会が開かれた。業界関係者を中心に約350人が出席した。

「エッセー・絵手紙」最優秀者インタビュー

少しはパチンコ理解 秋山さん 大串さん温かく筆の勢いを

—大串さんの題材はパチンコファンなら誰もが「あるよね」、とうなずく状況を題材とされていますが、この作品を描く際に意識したのは何ですか

大串 本当にこういう時に限って出ますよね(一同、あるある、と大笑い)。普段書いているイラストとは違って、絵手紙は塗り残しや水彩でぼやっと描く方が、温かみがあっていいのかなと工夫してみました。四角いパチンコの台を柔らかい水彩で描くには、どこまでをきっちり描けばいいのか迷いました。また、勢い良く筆の流れをだすほうが絵として伸び伸びした印象になるかと思ひ、結構一気に書きました。

—秋山さんは受賞されてどんなご感想をお持ちですか

秋山 旅行好きですから、賞品はでないぞ!(大笑)です。パチンコさんありがとう、です。その後、父と彼が二人でパチンコに行くことはもう無いみたいですが、家族と一緒に食事に行ったりします。その時は、私にはわからないパチンコの話を二人はしています(笑)。

—受賞されてから何か変わりましたか?

秋山 私はパチンコをしないので、知らないものに対する敵対心というか嫉妬というか、そういうものがあるのですが、少しでも理解できるように、と思つて書きました。おかげで少し理解できたのかな。彼に笑顔で「(パチンコに)行ってきてね」と言えるようになりました(笑)。

—今のパチンコへの要望があったらお聞かせください

大串 昔はもつとオリジナル・キャラクターがありましたよね。懐かしいようなあのほのほのとしたようなあいうのも好きだったので、そういうのをやりたいです。絵柄もゲーム性も、ですね。一時期やっていなかったのですが、再開した時ルールがわからなくなっていました。確かだと思ったのに確変じゃなくなつて、僕の勉強不足のせいですかね…(苦笑)

—秋山さんはいかがですか? ご自身はなさらないから「いつてらっしゃい」とは言えるようになったけれど、「一緒に行くわ」とはまだ言えないですよ

秋山 パチンコはまだ男の人の世界という感じなので、私の行く場所ではないように思っています。女友達もやりませんし。それにそこは、彼を一人にさせてあげたいと思う場所でもありません。私としてはできればより多く玉を出して、お菓子などを多く持つて帰ってきてくれればいいです。

—こういうイメージだったら行ってみたいというのがあったら教えてください

秋山 今、禁煙ホールなどがありますよね。パチンコは男性のオアシスだから、たばこパチンコ屋さんは切り離してはダメです。女性向けには、託児所があったらいいですよ。私、トイレ借りに入ったことがあります。きれいですよね。

—パチンコ店はきれいにしていますから、トイレだけでも利用して下さい



日遊協副会長を退任し、日工組の代表としてあいさつする金沢全求理事長



玉川達也課長補佐（中央）を囲んで盛り上がる庄司会長（右）と庄司正英相談役



退任しホッとする深谷前会長をねぎらう青松英和全日遊連理事長（左）

冒頭、「第3回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の最優秀賞受賞者、秋山瑞葉氏（エッセー）、大串勇二氏（絵手紙）が壇上で紹介された。

庄司孝輝新会長は冒頭の挨拶で、「ファンの減少をこれ以上放っておくことはできない。ホールだけ

では何もできないので、メーカーとタッグを組んで、いかにV字型に持っていかを真剣に考えなければならぬ。古谷保安課長の講話でも、ヘビューザーに偏った産業という見方がされつつある。大衆娯楽の原点に戻って一からやりなおさないとダメだ。明日の利益より中長期的に見て成長する産業に変えていきたい。今回会長職を受けたが、皆様の協力なしではできない。産業一丸となって対応していこう」と訴えた。

来賓挨拶で古谷洋一警察庁保安課長、青松英和全日遊連理事長、金沢全求日工組理事長が登場した。古谷課長は「風営法を所管している役所として、皆さんと一緒に風営法の枠内で一生懸命頑張る、繁栄していきたいという気持ちは同

じだ。非常に大きな業界なので、一つになって当たれば必ず新しい展望が開けてくると期待している。私どもも皆さんのそうした努力ができる限りサポートしていきたい」と述べた。

青松理事長は「業界が目指すところは一つしかない。ただそこへ行くまでのプロセスをどうするかで皆が苦悶している。業界全体の英知と努力を結集して、この難局を乗り越えていきたい」と強調した。

金沢理事長は「庄司会長が遊技産業活性化プロジェクトでリーダーシップをとり、どのようにファンを増やすか、業界みんなで考え、行動できれば素晴らしい」と庄司新会長へエールを送った。

副会長に就任した谷口久徳、筒井公久両氏が紹介された。そのあと深谷友尋前会長が、「長きにわたり、ご支援とご指導をいただきましてありが

大串 友達と行って、友達が出ちゃった後時間をつぶす必要がありますが、待ちながら負けちゃうんです(笑)。最近はマンガなどが置いてあるので助かります。近頃の機種ではガンダムが好きです。さっきの話とは矛盾しますが、自分が好きなマンガの機種があると一回はやってみますね。それでおもしろかったらファンになっちゃいますよ。今日はありがとうございました。これからもパチンコをよろしくお願います

- その他の懇親会来賓は次の通り（順不同・敬称略）
- 〔警察庁生活安全局保安課〕 課長補佐・玉川達也
 - 〔全日本遊技事業協同組合連合会〕 専務理事・吉原丈司▽事務局長・西俊文
 - 〔日本遊技機工業組合〕 副理事長・榎本善紀▽同・井上孝司▽常務理事・山澤求▽理事・事務局長・中川尚也
 - 〔日本電動式遊技機工業協同組合〕 理事長・里見治▽専務理事・原田宗宏▽技術部長・中西肇▽事務局長・平野薫美
 - 〔全国遊技機商業協同組合連合会〕 専務理事・高橋稔▽事務局長・久我明輝
 - 〔回胴式遊技機商業協同組合〕 理事長・伊豆正則▽専務理事・桂木俊郎▽顧問・渡邊泉郎
 - 〔遊技場自動補給装置工業組合〕 理事長・梁川誠市▽副理事長・河方洋
 - 〔遊技場メダル自動補給装置工業会〕 理事長・大泉政治▽事務局長・今井茂喬
 - 〔一般社団法人遊技場自動サービス機工業会〕 理事長・古宮重雄▽事務局長・山田宗晴
 - 〔一般社団法人日本遊技産業経営者同友会〕 代表理事・松田高志▽事務局長・古屋孝章
 - 〔一般社団法人余暇環境整備推進協議会〕 代表理事・笠井聰夫▽常務理事・中村泰明▽事務局長・田中弘
 - 〔一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会〕 代表理事・金本朝樹▽専務理事・中島基之▽法律問題研究部会リーダー・森治彦
 - 〔一般社団法人プリペイドシステム協会〕 理事長・小堀豊▽専務理事・恵良道信
 - 〔東京都遊技業協同組合〕 理事長・阿部恭久▽専務理事・松田洋

とうございました」とお礼の言葉を述べた。最後に中村昌勇全商協会会長が乾杯の発声をして懇親会が始まった。

深谷会長退任のあいさつ (要旨)

健全化への12年間でしたPSIOや健全化推進機構など

私どもの産業で健全化は、歴代の先輩方から受け継いできたキーワードです。そこへ日遊協は近代化という言葉を加えました。新しい遊技産業をつくっていくことが、日遊協活動の原点だったからです。

それには適正な運営が必要なので、適正化という言葉も同時に生まれました。健全化・近代化・適正化の3本柱に沿い、日遊協は24年間、遊技産業の発展のために、そこに働く多くの若人が希望を持って明日を目指すような産業となるために努力してきました。

22年前、私は愛知県の青年部会長をしていた時に日遊協を知りました。健全化・近代化・適正化の3本柱の御旗のもとに若人が集まろうという呼びかけに応じて参画しました。以来、この産業の発展のため、寝食を

忘れて活動に邁進してきました。12年前に平本(将人)前会長の後を継ぎ、今日まで会長職を務めさせていただきました。榮譽あるこの重責をどこまで担えたかはわかりませんが、一生懸命健全化に資する活動をしてきました。

その1つは他団体にはない店長等教育講座です。我々の産業はお客様1人ひとりへのサービスとホスピタリティが大切です。そのためには店長の資質を高め、店長を支え従事する人たちにも法令遵守等々をしっかりと学んでいた。ただ趣旨から始まりました。お陰様で今日まで4000有余名の卒業生を出しています。

昔、店では預かり玉というものがありませんでした。お客様から玉を預かり、翌日ご来店されたらその玉で遊技してもらおうというものでした。この行為は違法行為であり、やむなき換金需要を軽減することを目標に第三

者管理による貯玉補償基金制度がつけられました。ファンの皆様からお預かりした玉・メダルが、店の不具合で明日から遊技できないという事態のときにファン保護の観点から補償し、大きな成果をあげています。

正しい遊技機の流れ

正しく遊技機販売を取り扱う制度として、何らかの法的根拠が必要であるうと、横断的組織である日遊協が中心になり、全商協、回胴遊商をはじめとする関係団体と登録資格審査委員会を立ち上げました。ほぼ同時に取扱主任者制度もスタートしました。遊技機を正しいルールに則ってお店にお届けし、正しいルールに

則って中古機として排出する、もしくは廃棄します。

遊技機は必ず何時か廃棄しなければなりません。過去、廃棄遊技機が野積みされ、社会問題化した事件がありました。私たちは、ホール、メーカーの間でリサイクルを正しく運用し、メーカー責任、使用者責任を区分していこうと、遊技機リサイクル検討委員会(現・推進委員会)を立ち上げました。

全国行脚や公取通い

一方で不正を根絶するため、PSIO(遊技産業不正対策情報機構)を設立しました。全国からネットを通して集めた不正に関する情報を都道府県警察に配信し、捜査に役立てていただく主旨から発足いたしました。当時の三上(和幸)専務理事と一緒に全国の県警本部に主旨説明に回ったことを思い出します。

その後、第三者による不正の監視、もしくは不正ができない環境づくりのため、遊技産業健全化推進機構を立ち上げるようになります。機構は当初、独禁法との抵触が心配されました。「健全な営業をしたい。社会に認めていただけるような産業にしたい」というわれわれの趣旨を理解していただくため、何度も公取委に足を運びました。メーカーも、「うちの機械を使用するためには、正しい取扱いと正しい使用をホールにし

深谷友尋会長の足跡

89年10月25日 社団法人許可後、初の日遊協臨時総会

91年5月15日 日遊協理事に就任

5月25日 広報誌「NICHYUKYO」創刊

7月19日 JINET社の貯玉サイフを都内3店でテスト

93年8月11日 PCシステム導入店1000店突破(開始から3年5か月)

94年6月1日 遊技機販売業者登録・取扱主任者制度実施

6月9日 日遊協副会長に就任。新会長に庄司正英副会長



新旧交代。庄司孝輝新会長(左)から花束を贈られた深谷友尋前会長

- 95年1月26日 遊技機取扱主任者制度スタート。初の試験236人全員合格
- 95年1月26日 店長等講習・試験始まる。この年8回開催
- 96年8月26日 阪神大震災被災者に会員から247.5万円
- 12月15日 社会的不適合機の撤去など自主規制発表
- 97年4月4日 変造続出で大被害、PC3社が全国共通から店舗限定型に
- 9月10日 講師呼び第1回経営セミナー開く。この年10回開催
- 98年8月28日 日遊協ホームページ開設
- 00年6月28日 セキュリティ問題検討委員会始動、委員長に就任
- 01年8月24日 セ問題検討委員会、「不正対策情報機構」設立を提唱
- 10月1日 日遊協会長に就任、平本将人会長辞任で
- 02年6月6日 PSIO（不正対策情報機構）協議会が初代会
- 03年5月15日 通常総会で「行動する日遊協」を宣言
- 10月10日 PSIO情報の県警への提供提案、爆裂機の自主回収決める
- 04年5月13日 新たな日遊協憲章「三つの心」と行動指針「四つの誓い」を決定
- 12月20日 警察庁が風適法等の規則改正案を提示、日遊協緊急対策会議
- 05年1月20日 初の一般参加の「第3回論文作文コンクール」最終審査会
- 2月12日 「日遊協ボランティア緊急派遣隊」の設置決める
- 8月31日 「遊技産業における社会貢献活動に関する調査報告書」発刊
- 7月19日 同友会、余暇進、PCSAと「遊パチ導入促進」の決議
- 08年6月5日 2月豪雪の新潟に続き、中越沖地震でボランティア派遣
- 10月25日 「マネジメント・カレッジ」第1回開催
- 09年2月10日 総会で「日遊協のビジョン」を発表
- 3月23日 「不正対策勉強会」スタート。この年全国で6回開催
- 11月14日 日遊協創立20周年記念式典
- 10年11月6日 「リクナビLIVE」に日遊協ブース出展。学生1189人入場
- 11年3月11日 「東日本大震災」東北地方で未曾有の大地震・大津波
- 4月11日 被災地支援ボランティア隊派遣、全国7支部18189人
- 3月1日 会員全体で義援金活動
- 7月9日 ホール4団体と夏季節電。店休、空調対策などで目標以上達成
- 7月20日 活動強化へ4委員会4Pチーム制度に刷新
- 10月1日 警察庁「広告・宣伝」で再度通知、各会員に趣旨徹底
- 13年1月17日 依存対策強化。「予防ステッカー」を会員に配布
- 1月29日 「遊技産業活性化プロジェクト」を立ち上げ決定
- 2月27日 「子供の車内放置防止対策マニュアル」を5団体で発表
- 3月14日 「活性化プロジェクト」正副会長会議で具体案検討開始
- 4月8日 理事会で「一般社団法人」への移行決議
- 5月16日 「活性化プロジェクト」羽根物、普通機の促進へ
- 5月17日 理事会で「一般社団法人」移行のための新定款を承認
- 6月13日 仙台市荒浜で防災林再生の「仙台共生の森」活動。840本植樹
- 日遊協総会で会長退任

でもらうために」と立ち上がってくれました。全日遊連・メーカー団体の協力がなかったら、機構は世に出なかったかも知れません。

機構は第三者性が担保され、行政からも高い評価をいただいております。遊技産業に関係する14団体が加盟し、今も健全化に大きな役割を果たしています。

状況深刻、新しい道を

一方で、遊技産業が置かれた状況は非常に深刻です。何よりもファン離れが止まらない。まだまだ明日の光は見えず暗中模索が続いています。窮状にあるこの産業をどう導いていったらいいのか。私はこの2、3年悩んできました。そして、若いリーダーを日遊協に迎えるべきだと決断しました。新しいリーダーの下で、遊技産業を活性化させる計画を推進していただき、よりファンの皆様や遊技しない方々より理解を頂ける産業を目指し、活躍出来る事こそ今求めています。

るリーダー像であります。遊技産業の活性化の為に副会長を中心にプロジェクトチームを立ち上げさせていただきました。この中でしっかりと議論をしていただき、遊技産業の新しいブランドデザインを描いていただくことを念願しています。そのため

深谷さん、ありがとんぼいりました

社会とファンを見据えた12年

日遊協会長 庄司孝輝

「皆が大変な時に自分の都合ばかりいうな」

東日本大震災直後の石巻直接支援の夜、会長がボランティア隊員らを叱咤激励した際に出た言葉だそうです。

深谷さんの会長としての想いは、この言葉に表れているように思います。

深谷さんが日遊協会長に就任された平成13年は、パチスロ4号機ブームの真つただ中。加熱する営業、遊技機、そしてファンを、社会情勢の変化がいわゆる「爆裂機」撤去問題へとつがなっていくきました。現状にプレートをかけつつ、健全営業への修正をするという難しい局面だったと思います。それ以降もホール大型倒産時のファン保護対応とそれを教訓にした貯玉補償基金の立ち上げ、PSIO協議会と遊技産業健全化推進機構の立ち上げ、共生の森と各種ボランティア活動、そして東日本大震災支援と節電などの業界自主規制

の新しいリーダーを私は胸を張ってご紹介できると思います。その方以後を託します。

私の6期12年間、皆様にも多大なるご支援とご協力を賜り、お育ていただきましたことを感謝申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

深谷さんは常に先頭に立ち、日遊協の都合ではなく社会の要請やファンのために業界総意をまとめてこられました。震災後のパチンコバッシング対応と業界としての社会的責務をまとめる際にも、私は副会長として常に同行し、まさに深谷さんの信念と業界の横断的社団法人としての役割を果たす姿勢を間近に見てきました。私たち副会長にも「皆が大変な時に自分の都合ばかりいっつな」といった叱咤激励を何度かいただきました。そして今、私は日遊協会長を引き継ぎました。深谷さんをはじめ歴代の日遊協会長からの想いを受け継ぎ、変化し続ける社会情勢へ対応し、産業の活性化と明日の産業創造のために尽くしてまいります。